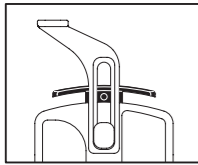
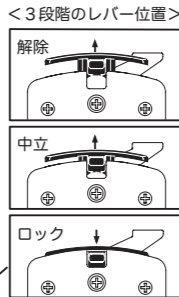
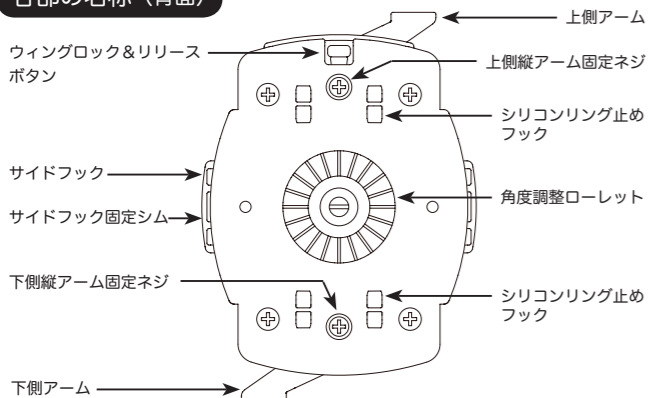
MINOURA iH-520-STD / iH-520-OS 取扱説明書 (ver.1.0 2015/4)

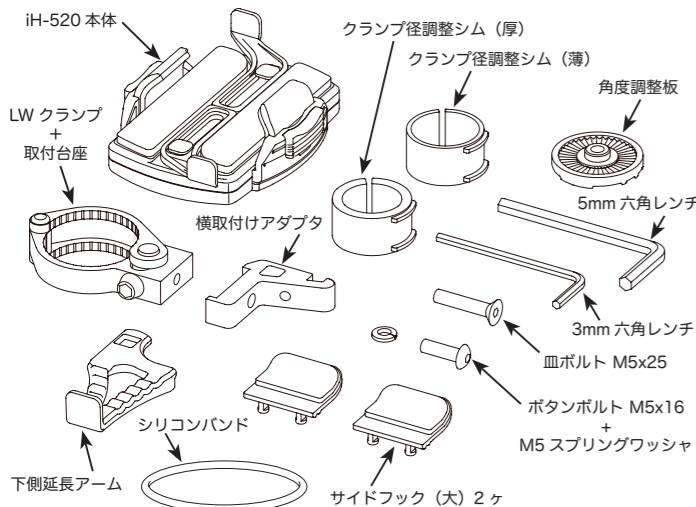
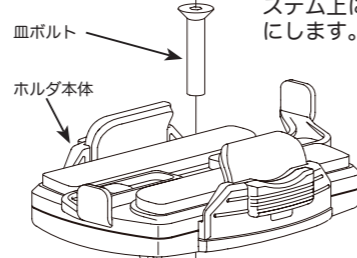
モデルのちがい

クランプの対応径ちがいで２種類あります。

- iH-520-STD： 22 〜 29mm 径に対応します
- iH-520-OS ： 27 〜 35mm 径に対応します

iH-520 の機能

不意に開いてしまうことなく電話機をホールドし続けるようサイドウィングにはロック機構を装備。
押しこめばウィングがロックでき、引けば開きます。

付属のシリコンバンドは、不意の電話機の落下を防止するため、ホルダと電話機とを一緒に保持しておくためのものです。

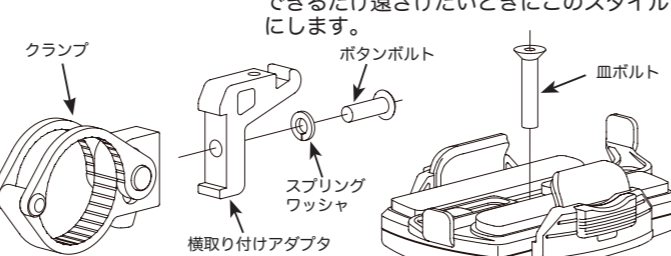
各部の名称（背面）

パッケージ内容

組み立ての前にお確かめください。
もし欠品があれば販売店にご連絡ください。

取り付け方向 ①

クランプの真上に装着する方法。
できるだけ電話機を手前に寄せたいときやステム上に装着した場合に、このスタイルにします。

クランプのねじ孔の上に角度調整板をかぶせ、その上にホルダ本体を置いて、皿ボルトで貫通して締め付け固定します。

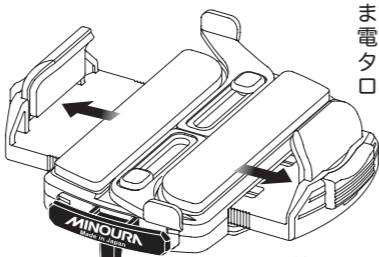
ホルダ本体の角度は９度ごとに調節できます。
再び角度を変えるにはいったん皿ボルトを緩めてから行ないます。

ステムに装着するには一般的に OS サイズクランプでないとできません。

取り付け方向 ②

クランプの前に突き出して装着する方法。
目線の移動量を少なくするため、電話機をできるだけ遠ざけたいときにこのスタイルにします。

1. まずクランプ本体に横取付けアダプタをボタンボルトで取り付けます。
2. 横取付けアダプタに角度調整板をかぶせ、その上にホルダ本体を置いて、皿ボルトで貫通して締め付け固定します。

   ホルダ本体の角度は９度ごとに調節できます。
   再び角度を変えるにはいったん皿ボルトを緩めてから行ないます。

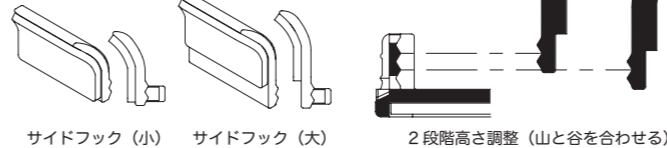
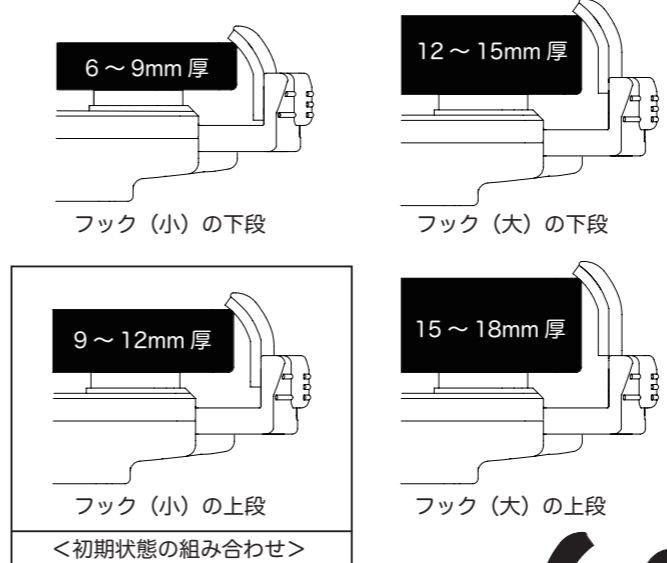
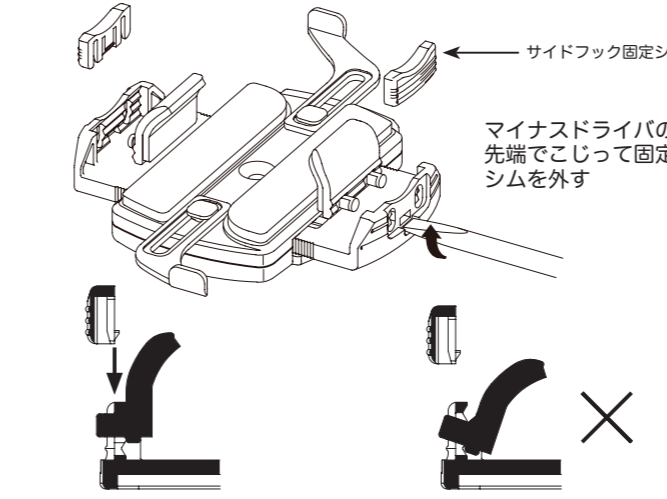
ウィングの開き方と閉じ方

赤いウィングロック＆リリースボタンを引けばウィングは開きます。
電話機を取り付けた後はこのボタンを押し込んでウィングをロックしておきます。

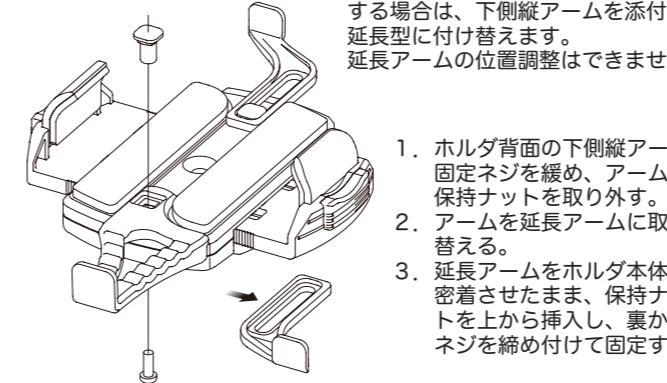
電話機を取り付けた後に増し締めとして更にウィングを押し込むと、機構的にロックは自動的に解除されてしまいます。必ず「最後にロックボタンを押し込む」ことを忘れないでください。

シリコンバンドの使用

シリコンバンドはホルダ裏面の上下いずれかのフックにはめ込んでから電話機をホルダごと巻いて、不意の脱落を防止します。

厚みを合わせる

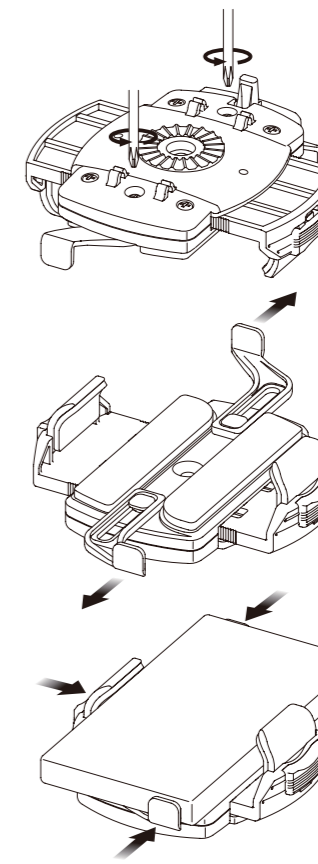
iH-520 には大小２サイズのサイドフックがあり、フック(小)が標準で装着されています。それぞれ上下２段に取り付け位置を選べるので、合計４段階にフックの高さを変えられます。電話機の厚みに合わせて最適な高さにセットしてください。

フックの付け替え

フックをウィング端いっぱいに押し付けながら、飛び出たピンに上からシムをかぶせて固定します。奥までいっぱいに押し込まれていることを確認してください。

フックが傾いているとシムはうまくはまりません。

下側縦アームの付け替え

iPhone 6 プラスなど全長が 147mm を超え 163mm までの電話機を装着する場合は、下側縦アームを添付の延長型に付け替えます。
延長アームの位置調整はできません。

1. ホルダ背面の下側縦アーム固定ネジを緩め、アームと保持ナットを取り外す。
2. アームを延長アームに取り替える。
3. 延長アームをホルダ本体に密着させたまま、保持ナットを上から挿入し、裏からネジを締め付けて固定する。

電話機に合わせる

電話機の天地サイズに合わせて上下アームの位置を調節します。

横に３つ並んだうちの中央のネジ（めっきのもの）を緩めるとアームを動かすことができます。

他のネジ（黒いもの）は緩めないこと。

縦アームをスライドさせ広げます。

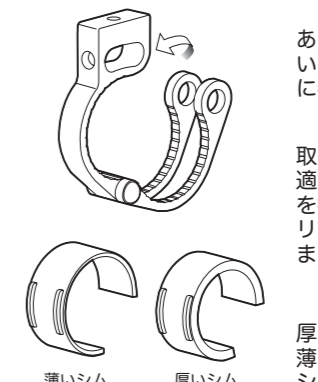
電話機を載せウィングを閉じて、電話機を仮固定します。

ウィングを閉じたとき電話機の電源ボタンがウィングによって押されてしまい電源が勝手に切れたりする場合は、添付のパッドを適当な大きさに切り、フックのパッド上に重ね貼りして逃げてください。

上下アームをそれぞれ電話機に当たる位置まで移動させてから、裏面のネジを締めて固定します。

電話機はできるだけホルダの中心で偏らないように保持させてください。

クランプの使い方

iH-520 のクランプは工具を使って付け外しする軽量タイプのものです。
(220 は工具なしでも脱着できます)

あらかじめ組み立ててあるクランプをいったん分解し、アームを広げてパイプに巻き付け、ふたたびアームを閉じます。

取り付ける対象のパイプ径に合わせて、適宜クランプの内側に添付の樹脂製シムを挟みます。
リブが２本ある側が１本アーム側になります。

	[STD]		[OS]
厚いシム：	22mm 径	／	27mm 径
薄いシム：	25mm 径	／	32mm 径
シムなし：	29mm 径	／	35mm 径

クランプ本体の長孔とアームのそれぞれの孔を貫通するようにロールナットを通します。
ボルトの斜めねじ込みを防止するため、ロールナットのネジ孔はクランプ側面の孔に対し正しく向けておいてください。

締め付けボルトをクランプ側面からロールナットにねじ込みます。
まずは指だけで軽く３回転ほどまわし、無理なくねじ込めることを確認してから初めて M5 六角レンチを使って締め込んでいきます。

最初から六角レンチを使ってねじ込まないようにしてください。ボルトが斜めに入ってしまっている場合、ロールナットのネジ孔を壊してしまいます。

ロールナットは軟らかいアルミ製なので締め過ぎにはご注意ください。ねじ山をなめてしまいます。